

【機器分析研究施設 機器利用案内】

	機器名	機種名	設置場所	管理責任者	電話番号	利用手続き	利用方法	利用時間	利用停止日	利用料金	備考	取得年月日
1	元素分析装置	ジェイ・サイエンス・ラボ Micro Corder JM10	自然科学1号館1A111室	王生 麻里	234-4430	設備共同利用推進総合システムから利用許可申請し、承認を受ける必要あり。 支払い予算設定が必要。 分析申込書を機器管理責任者へ提出	依頼測定のみ	9時から17時 (依頼受付)	1)土,日,祝日 2)12月28日から1月4日 3)夏季一斉休業日 4)その他施設長が特に必要と認めた日	1 検体の料金は以下の通り。 通常サンプル：1,040円 妨害元素含有サンプル：1,950円 その他、天秤使用料：130円、ポート使用料：65円	Hg, As, Bi, Sbを含む化合物は測定不可。	2012年12月14日
2	質量分析装置	日本電子 JMS-700	自然科学1号館1A110室	王生 麻里	234-4430	設備共同利用推進総合システムから利用許可申請し、承認を受ける必要あり。 支払い予算設定が必要。 依頼測定の場合は、分析申込書を機器管理責任者へ提出 利用者による測定の場合は、申請書の施設への提出及び機器利用予約システム(サイボウズ)による予約	依頼測定 (利用者自身によるFABローマスおよびミリマスの測定可)	9時から17時 (依頼受付) 利用者自身による測定は、毎週水曜9時から17時	1)土,日,祝日 2)12月28日から1月4日 3)夏季一斉休業日 4)その他施設長が特に必要と認めた日	依頼測定の場合、1 検体の料金は以下の通り。 EI(低分解能)：1,430円 EI(高分解能)：2,600円 FAB(低分解能)：2,080円 FAB(高分解能)：3,250円 利用者自身による FABローマスおよびミリマス測定の場合、1時間あたり1,300円。(1ヶ月単位で集計し、1時間未満は切り上げ)	利用者自身によるFABマスの測定は、利用者講習を受講した本学の職員及び修士課程以上の学生に限る。 ただし、6年制の学類等においては、5、6年生も修士課程学生と同等と見なす。	2011年3月16日
3	質量分析装置 (ユーザー測定のみ)	日本電子 JMS-T100TD	自然科学1号館1A110室	王生 麻里	234-4430	設備共同利用推進総合システムから利用許可申請し、承認を受ける必要あり。 支払い予算設定が必要。 利用申請書の施設への提出及び機器利用予約システム(サイボウズ)による予約	利用者自身による測定	施設長が特に必要と認めた場合を除き、制限なし。	施設長が特に必要と認めた場合を除き、利用停止日を設けない。	ユーザー測定1 検体当たりの利用料金は325円とする。 ただし、DARTイオン源でTLCマスの測定を行う場合には、化合物スポットの数にかかわらず、TLCプレート1枚を1 検体とカウントする。 データ解析のための専用ワークステーション利用は無料。	利用者講習を受講した本学職員、及びその職員が所属する研究室の4年生以上の学生によるユーザー測定に限る。 データ解析のためのワークステーション利用のみの場合も機器利用予約システムでの予約が必要。 測定に必要な消耗品は利用者が用意する。イオン源として、DARTとESIが利用可。イオン源の交換はユーザーが行い、ESIの使用後には必ずDARTに付け替えておくこととする。	2011年3月16日
4	誘導結合プラズマ質量分析装置	サーモフィッシャー Element 2	自然科学5号館116室	横山 明彦	264-6127	設備共同利用推進総合システムから利用許可申請し、承認を受ける必要あり。 承認後は同システムから利用予約をし、承認を得ることで利用できる。	利用者自身による測定	9時から18時 (注1)	1)土,日,祝日 2)12月28日から1月4日 3)夏季一斉休業日 4)その他施設長が特に必要と認めた日 (注1)	利用1時間あたり2,000円。 また、装置が故障した場合の修理費は、利用時間に応じて按分することとする。	被検試料溶液と比較標準試料溶液を持参すること。 使用前に機器マニュアルを熟読すること。初心者には取扱説明・演示を行う。	2019年度
5	ガスクロマトグラフ/質量分析計	ヒューレットパッカード HP-5973	ハードラボ3	唐 寧	234-4455	機器管理責任者への連絡	利用者自身による測定	9時から17時 (注1)	1)土,日,祝日 2)12月28日から1月4日 3)夏季一斉休業日 4)その他施設長が特に必要と認めた日 (注1)	利用1時間につき、600円 用紙1枚につき、5円 バイアル1個につき、35円	初めて利用する場合には、本装置の使用経験者の付き添いが必要とする。使用希望者が多い場合には、不定期に利用講習会を開催する。 消耗品(溶媒等)は利用者が用意する。また、機器に付属のキャピラリーカラム(HP-5MS)以外のものを使用する場合は、キャピラリーカラムと対応するフェーラルを利用者が用意する。	1999年3月

機器名	機種名	設置場所	管理責任者	電話番号	利用手続き	利用方法	利用時間	利用停止日	利用料金	備考	取得年月日	
6	核磁気共鳴装置(600 MHz)	日本電子 JNM-ECZ600R	自然科学1号館1B111室	内山 正彦	234-4428	設備共同利用推進総合システムから利用許可申請し、承認を受ける必要あり。支払い予算設定が必要。	利用者自身による測定	施設長が特に必要と認められた場合を除き、制限なし。	施設長が特に必要と認められた場合を除き、利用停止日を設けない。	利用1時間につき、390円 (1ヶ月単位で集計し、1時間未満は切り上げ) 用紙1枚につき、12円	各利用者が1日に利用できる時間の制限について別に定める。 その他、利用上の注意事項については、機器管理責任者に問い合わせる。 初めて低温測定をする研究室は、機器管理責任者にあらかじめ連絡して測定操作の講習を受けること。また、低温測定に用いる液体窒素は、利用者が所定のデュアータンクに用意するか、あるいは管理者の許可を得てNMR室内に設置されている液体窒素自動製造装置から取り出すことも可能。(基本的に液体窒素の料金は徴収しないこととするが、使用量が極端に多い場合には相談の上、徴収することもある。) 施設所有の微量試料管を用いて測定する場合には、微量試料管の利用予約も必要。(利用料は課さない)	2021年10月
7	核磁気共鳴装置(400 MHz)	日本電子 JNM-ECS400	自然科学1号館1B111室	内山 正彦	234-4428	同上	同上	同上	同上	利用1時間につき、325円 (1ヶ月単位で集計し、1時間未満は切り上げ) 用紙1枚につき、12円	同上	2009年12月9日
8	試料構造評価装置	リガク SmartLab	工学部 VBL&先端材料科学ラボ棟2F 構造・組成解析室(204)	川江 健	234-4881	設備共同利用推進総合システムから利用許可申請し、承認を受ける必要あり。支払い予算設定が必要。利用開始の2日前まで予約可能。	利用者自身による測定	9時から19時 (注1)	1)土、日、祝日 2)12月28日から1月4日 3)夏季一斉休業日 4)その他施設長が特に必要と認められた日 (注1)	利用1時間につき、100円 利用開始の7日前からキャンセル料が発生する(利用料金の100%)	毎年4・5・6月および9・10月に実施される取り扱い説明会を受講する必要あり。(規定外の時期を希望する場合は、管理責任者と要相談)	2013年11月6日
9	単結晶自動X線回折装置	理学電気 AFC-7S	自然科学2号館2B115室	奥寺 浩樹	264-6525	所属部局へのエクス線使用申請 設備共同利用推進総合システムから利用許可申請し、承認を受ける必要あり。支払い予算設定が必要。	利用者自身による測定	9時から17時 (注1)	1)土、日、祝日 2)12月28日から1月4日 3)夏季一斉休業日 4)その他施設長が特に必要と認められた日 (注1)	1日あたり7,200円	利用者は、教育研究用エクス線安全取扱い講習会を受講していることが前提。当該装置あるいは同等の装置の使用経験があること。	1998年3月18日
10	自動X線回折装置	理学電気 RINT-2200	自然科学2号館2B115室	奥寺 浩樹	264-6525	同上	利用者自身による測定	9時から17時 (注1)	1)土、日、祝日 2)12月28日から1月4日 3)夏季一斉休業日 4)その他施設長が特に必要と認められた日 (注1)	利用者は1試料 300円 長時間測定は、1時間を超える毎に300円/時を追加。 1測定日あたり300円を加算。 (1試料のみ測定した際の最低料金は600円となる。) 装置の操作代行は1試料あたり3,000円を追加(作業手数料)。	利用者は、教育研究用エクス線安全取扱い講習会を受講し、フィルムバッジを装着していなければならない。	1999年3月

	機器名	機種名	設置場所	管理責任者	電話番号	利用手続き	利用方法	利用時間	利用停止日	利用料金	備考	取得年月日
11	電子線マイクロアナライザー	日本電子 JSM-7100F	工学部 VBL&先端材料科学ラボ棟2F 構造・組成解析室(204)	川江 健	234-4881	設備共同利用推進総合システムから利用許可申請し、承認を受ける必要あり。支払い予算設定が必要。利用開始の2日前まで予約可能。	利用者自身による測定	9時から17時 (注1)	1)土、日、祝日 2)12月28日から1月4日 3)夏季一斉休業日 4)その他施設長が特に必要と認めた日 (注1)	利用1時間につき、1,000円 利用開始の7日前からキャンセル料が発生する(利用料金の100%)	毎年4・5・6月および9・10月に実施される取り扱い説明会を受講する必要あり。(規定外の時期を希望する場合は、管理責任者と要相談)	2013年11月6日
12	粘弾性特性測定装置	オリエンテック DDV-01FP	自然科学3号館3B322室	喜成 年泰	234-4694	機器管理責任者への連絡	オペレーターによる測定	9時から17時 (注1)	1)土、日、祝日 2)12月28日から1月4日 3)夏季一斉休業日 4)その他施設長が特に必要と認めた日 (注1)	利用1時間につき、1,200円	初めて利用するときは、機器管理責任者が開催する講習会を受講すること。 低温測定のための液体窒素は、利用者が準備すること。	1993年3月26日
13	円二色性分散計	日本分光 J-820	自然科学1号館1A111室	内山 正彦	234-4428	設備共同利用推進総合システムから利用許可申請し、承認を受ける必要あり。支払い予算設定が必要。 利用申請書の施設への提出及び機器利用予約システム(サイボウズ)による予約	利用者自身による測定	9時から17時 (注1)	1)土、日、祝日 2)12月28日から1月4日 3)夏季一斉休業日 4)その他施設長が特に必要と認めた日 (注1)	利用1時間につき、1,040円 (1ヶ月単位で集計し、1時間未満は切り上げ)	各利用者が1週間に利用予約できる時間の制限について別に定める。 その他、利用上の注意事項については、機器管理責任者に問い合わせる。	1991年1月30日

(注1) 機器管理責任者の都合により、利用出来ないことがあります。あらかじめ機器管理責任者と相談して下さい。